

猫漢  
ぽち  
ゃん  
キん  
鬼

成人向



ボウの彼女を  
紹介します

鬼塚菊丸ちゃん  
サークルの一年後輩  
です

見ての通りの  
鬼の娘なんです

今日はちよつと  
イチャイチャ気分で  
温泉デート！  
離れの個室風呂付きの  
部屋を予約して  
はやる気持ちを  
抑えるのが大変です  
菊丸ちゃんはどうか

露天だあ  
入ろう！



「先輩はやく  
入ってきなよ」

さっさと  
湯船を占拠している  
菊丸ちゃん！  
どこにボクが  
入る余地が！

ズッポン..

「先輩には  
特等席が  
あるじゃん」

湯加減を確認するまでもなく  
菊丸ちゃんの指が  
ボウの股間の湯加減を  
調べてきます

ギョッ!

「いい具合に  
ボイルされてますか?  
先輩の」

熱気と指先の感触で  
もつじキンピキンだった  
ボウのを菊丸ちゃんは  
美味しそうに頬張ります

ぬちゅる!

ハア  
ハア

ヒッ  
ハッ



あ..  
あ..

菊丸ちゃんの  
大きな舌が  
ボウの竿から  
裏スジまでいいねいに  
舐めてくれます

ずゅぽ  
ずゅぽ  
ずゅぽ



ボクのを啜えていたら  
我慢が出来なくなってきたのが  
自分のオマンコを掘げながら  
ボクを誘います

「先輩・わたしのも」

彼女の大ぶりな  
秘肉は美味しそうに  
充血しヒクヒクと  
脈打ってるのが  
湯気の中からも  
分かります



「あ…先輩の舌…」

「さあ、いっしょに…」

菊丸ちゃんの  
オマンコは  
肉厚でジューシーな  
最高級の  
アワビって感じ

10

ぷしゅー、ぷしゅー



いやあああ!

おおおおっ  
お尻の穴!

ムチャッ.

ん

ふはあう！

あー！

さすがに露天とはいえ  
のぼせてしまっね



開けた浴衣  
好きなんじゃない？

13

俺の彼女  
最高っす！！





ぷちゅわんわん

ぬるぬる  
その肉布団に  
埋もれてきます

波打つ肉が  
気持ちいい！

あ：  
先輩の重さ・  
心地いい！

「先輩の…先輩の  
体温を感じる…♪  
もっとうぎゅっ」と…」

菊丸ちゃんの  
肉布団サイコーっ！  
ずっと包まれていたい…

いぎゅっ

そんなことを  
考えていると  
ボウのが激しく  
反応してしまい…

また菊丸ちゃんの  
舌のお世話になつて  
しまいました  
大きなオツパイの上に  
またがつて  
彼女の喉奥に  
自分のを  
押し込みます

全部  
飲んでくれる...

ん  
ちゃ  
ちゃ

ハ  
ハ

は  
や  
う  
!

ボウの精液を喉の奥に  
激しく出された  
菊丸ちゃんも流石に  
限界のよう

こちらに向かって  
催促してきます

そんな彼女の  
潤んだ目にボウも  
応えなくてはいけません  
毎度この身体を見てしまうと  
果たして自分ので  
満足してもらえるのかと  
少し不安になってしまいます



少し焦らしてみます  
彼氏のオマンコの方から  
吸い付いてくるのを  
待ってみたり

吸い付いたら  
離してくれない  
オマンコなので  
こちらも腕でしっかり  
自分の身体を支えます



んあああう!

前から後ろから  
横から下から  
あらゆる方向から  
菊丸ちゃんを  
責めまくります



「エッチしながらする  
キスが好き」

21



ああああああああ

イキそうです  
ああ、もうダメ..  
一度中イキをせたいんですけど  
こんなのでいいのか  
ボク！

菊丸ちゃん  
ゴメン！  
ボクもう限界です！

△  
=



はー！  
ふー！  
はー！

はー！  
ふー！

お  
ろ  
ろ

出したあとは  
ゆづくり  
彼氏の膣に  
ボウの精液を  
染み込ませて  
いきます

いやー  
やつちやつた  
今晚何回菊丸ちゃんの  
中に出したのが分からない

さすがの菊丸ちゃんも  
グツタリかな  
ボクなんかとつる昔に  
打ち止めでして  
ダメだなあ…

「先輩  
こんなのわたしに  
着せて  
やりたいんですか？」

当然このあとに  
どちゃクソ  
セックスしました  
朝ご飯食べるの  
忘れるくらいに：





## 【ぽちゃムキ!ん 鬼】

発行責任者 真鍋譲治

@GLC09BK88PGot7U

発行日2024/12/30

印刷所 サンライズ様